

■ 基本方針

現庁舎が抱える様々な問題を改善し、地震・津波等の災害発生時の中枢管理機能を果たす拠点として、また、その後の復旧・復興の拠点となるべく、耐震性・安全性に優れ、防災設備及び防災対策の体制が充実した役場庁舎実現の為、「串本町役場庁舎建設基本構想」の「新庁舎に求められる機能」に掲げられた6項目を基本方針として、基本設計を取り進めます。

◆ 1) 来庁者の利便性に配慮

- ・来庁者・職員が利用しやすいシンプルで、機能的なフロア構成・動線計画・ゾーニング計画とします。
- ・一般来庁者の利用が多く見込まれる、住民課・税務課・水道課・会計課・福祉課 地域包括支援センター・こども未来課・保健センターを1階に集約する2階建低層の役場庁舎を計画します。
- ・正面玄関となる西側に多目的駐車場を計画します。
- ・多種多様な来庁者の利用を踏まえ、授乳室・オムツ替え室・キッズコーナー・多目的トイレを計画し、快適性と利便性を確保した役場庁舎を計画します。
- ・ユニバーサルデザインを採用した、誰もが利用しやすい役場庁舎を計画します。

◆ 2) 防災対策拠点

- ・巨大地震等による、大規模災害時の復旧・復興活動の中枢拠点として機能を維持する為に、構造体を1類（重要度係数1.5）として計画します。また、地震被害の減災計画として、各執務室・待合・議場の天井は、耐震天井（任意耐震仕様）を計画します。
- ・被災後の業務継続が可能となるよう、自家発電機設備（非常用発電機）・災害時排水槽・災害トイレを設けると共に、被災後7日間は単独での業務継続が可能な役場庁舎を計画します。
- ・町長室・副町長室に隣接した、大会議室1・2、中会議室1・2の可動間仕切壁を開放して、災害対策本部として運用する事で、被災後、迅速な対応が可能となる計画とします。

◆ 3) 議会活動を推進する場

- ・来庁者の誰もが、容易に町議会の傍聴が行えるよう、来庁者動線に配慮した役場庁舎を計画します。

◆ 4) 行政サービス機能・業務効率の向上

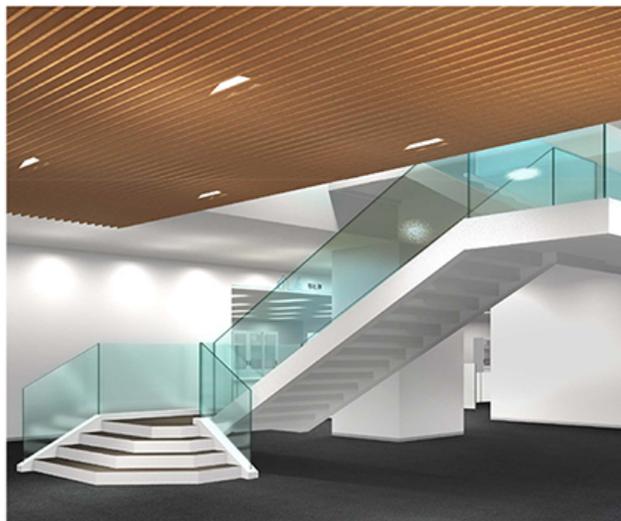
- ・各課が分散している2つの役場庁舎を新役場庁舎に統合する事で、各行政部門を集約し、住民に対する行政サービス機能の向上及び業務効率の向上を図ります。
- ・1階に一般来庁者の利用が多く見込まれる住民課・税務課・水道課・会計課・福祉課 地域包括支援センター・こども未来課・保健センター、2階に事業系来庁者の利用が多く見込まれる総務課・産業課・企画課・教育課・建設課を配置するゾーニング計画とする事で、関連各課が隣接し連携が図りやすくなる役場庁舎を計画します。

◆ 5) 環境に配慮

- ・大規模災害時の復旧・復興活動の中枢拠点としての施設の特性を踏まえ、平常時の節電・省エネと大規模災害時の業務継続を両立する合理的な建築計画・設備システムを採用し、省エネルギーで高度な機能が発揮できる役場庁舎を計画します。

◆ 6) 高い経済効率

- ・事業費の影響を最小限に抑える為、可能な限りコンパクトで機能的な計画とし、また耐震構造を採用する計画とします。
- ・長期にわたり役場庁舎としての機能を維持する為、構造体には高品質で長寿命なコンクリート工場製品を用いるコンクリートプレキャストプレストレスト構造（PCaPC構造）を採用します。
- ・1階に指定金融機関を誘致し、町民の利便性の向上と同時に、賃貸料による建設費等の縮減を踏まえた計画とします。



■ 1階待合 空間イメージ



■ 1階待合 住民課窓口空間イメージ



■ 正面入口からの外観イメージ

■ 計画概要 - 1

■ 建築・構造計画概要

◆ 敷地概要

所在地	和歌山県東牟婁郡串本町サンゴ台地内
敷地面積	12,782.05㎡ (計画有効敷地面積) (開発区域面積: 19,088.60㎡)
敷地海拔高さ	海拔49.96m~海拔50.70m
都市計画区域	都市計画区域
用途地域	用途地域の指定の無い地域
建蔽率	70%
容積率	200%
日影規制	無し
防火地域等	建築基準法22条地域
高さ制限	隣地斜線 (立上り20m+1/2.5勾配)、道路斜線 (1/1.5勾配、適用距離25m)
下水道処理	公共下水道整備区域
都市ガス	都市ガス未整備区域
前面道路	北側: 町道サンゴ台7号線 (幅員10.5m)、西側: 国道 (幅員15.0m) (現在工事中)

◆ 建築計画概要

用途	庁舎
建築面積 (建蔽率)	全体建築面積: 3,441.71㎡ (建蔽率: 26.93%) (庁舎棟: 2,881.57㎡、キャノピー(庁舎棟): 396.63㎡、車庫・書庫棟: 163.51㎡)
延床面積	全体延床面積: 6,118.96㎡ (庁舎棟: 5,425.51㎡、キャノピー(庁舎棟): 376.39㎡、車庫・書庫棟: 317.06㎡)
容積対象床面積 (容積率)	全体容積対象床面積: 6,050.33㎡ (容積率: 47.33%) (庁舎棟: 5,401.49㎡、キャノピー(庁舎棟): 364.11㎡、車庫・書庫棟: 284.73㎡)
階数	庁舎棟: 地上2階、車庫・書庫棟: 地上2階
最高高さ・軒の高さ	最高高さ: 13.445m、軒の高さ: 11.205m
駐車台数・バイク駐車台数	駐車台数: 271台、バイク駐車台数: 44台
エレベーター設備	乗用エレベーター (15人乗りマシンルームレス 60m/分): 1基
災害トイレ	単独貯留型 (貯留量: 30㎡ (500人×30日))

◆ 構造計画概要

耐震安全性の分類	構造体	I類 (重要度係数1.5)
	建築非構造部材	A類
	建築設備	甲類
耐震・免震・制震構造区分	耐震構造	
構造種別	上部構造体:	プレキャストプレストレストコンクリート造
	地下構造体:	鉄筋コンクリート造
基礎工法	杭基礎	: 場所打ちコンクリート杭 (オールケーシング) 工法

◆ 広域地図



◆ 敷地周辺地図



■ 計画概要－2

■ 電気設備計画概要

受変電設備	高圧1回線受電を計画する。 屋内キュービクル 単相変圧器150KVA×2台 三相変圧器200KVA×1台 スコット変圧器75KVA×1台
自家発電設備	非常用屋外キュービクル型発電機 220V 150KVA 軽油 地下オイルタンク 5,000L (7日分貯蔵)
幹線動力設備	1階電気室より各EPSに設置する、分電盤・各執務室OA分電盤にてケーブルラック方式にて接続とする。
電灯設備	LED照明器具を設置し、発電機回路執務室1/3 災害拠点室100%点灯とする。
コンセント設備	接地付コンセントを設置し、発電機回路執務室1/3 災害拠点室100%とする。
電話設備	引込ハンドホールより地中管路を経て本配電盤(MDF)までの配管、各室には空配管対応。
情報設備	引込ハンドホールより地中管路を経てネットワーク機器までの配管、各室には空配管対応。
テレビ共同受信設備	地上デジタル放送、CATV、BS放送等受信可能なよう計画する。
非常放送設備	消防法に準拠し2階総務課に防災アンプを計画する。
トイレ呼出設備	各階ハンデキャップトイレに設置し、2階総務課に表示盤を計画する。
電気時計設備	議場には大型電気時計を計画する。また2階総務課に親時計を、各室には子時計を設置する計画とする。
情報表示設備	議員用出退表示設備を計画する。
監視カメラ設備	執務室受付に音声録音付カメラを設置、出入口に屋外用カメラを計画する。
防災設備	消防法に準拠し、自家発電設備、非常放送設備、自動火災報知設備、火災通報設備、避難口誘導灯設備を計画する。2階総務課に自火報受信機を設置する。
議場設備	議場内の議事を円滑にするため、議場設備を計画する。
映像・音響設備	災害対策室の運営を行うために、映像・音響設備を計画する。
入退室管理設備	職員入口、町長執務室前廊下、電算室に入退室管理設備を計画する。

■ 機械設備計画概要

◆ 空調和設備計画概要

空調設備	空冷ヒートポンプパッケージエアコンビル用マルチ 総容量 320HP 各執務室等：天井埋め込カセット形4方向吹室内機 議場：空気調和機による単一ダクト方式
換気設備	各執務室等：全熱交換器による1種換気 各階ホール：外気処理空調機による、2種換気→便所等の3種換気でエアバランスをとる計画とする。
自動制御設備	上記、空調設備・換気設備を2階総務課にて集中管理を行う為の、液晶タッチパネル式集中コントローラーを設置する計画とする。

◆ 給排水衛生消火設備計画概要

給水設備	上水(飲用)系統：水道本管より引込み、SUS製パネル受水槽へ貯留し加圧給水ポンプにて各所へ給水する。
給湯設備	1階更衣室USへの給湯：屋上にガス給湯器16号を設置する計画とする。 各給湯室への給湯：5号元止式湯沸器を設置する計画とする。 来客用便所・町長室・授乳室への給湯：電気温水器を設置する計画とする。
排水設備	屋内は汚水と雑排水を分流とし、屋外会所にて合流排水とする。以降、下水道本管へ接続。災害時、下水道本管への放流が不能となった場合を想定し排水貯留槽を設ける。
衛生器具設備	大便器は節水形腰掛便器とする。小便器・洗面器はセンサー式自動洗浄とする。
消火設備	消防法に準じ、屋内消火栓設備・消火器を設置する。
ガス設備	屋外にプロパンボンベ庫を設け、各給湯器、湯沸器、ガスコンロへ供給する。

■ 配置・外構計画

◆ 1) 配置計画の前提条件

将来的に前面道路となる高速道路へのアクセス道路はカーブしており、かつ南西に向かってレベルが下がっていくことから、敷地内へのアプローチが1箇所に限られることを踏まえた上で、駐車台数を最大限確保しつつ、庁舎の正面の前面道路からの視認性にも配慮した配置計画とします。

◆ 2) 建物配置計画について

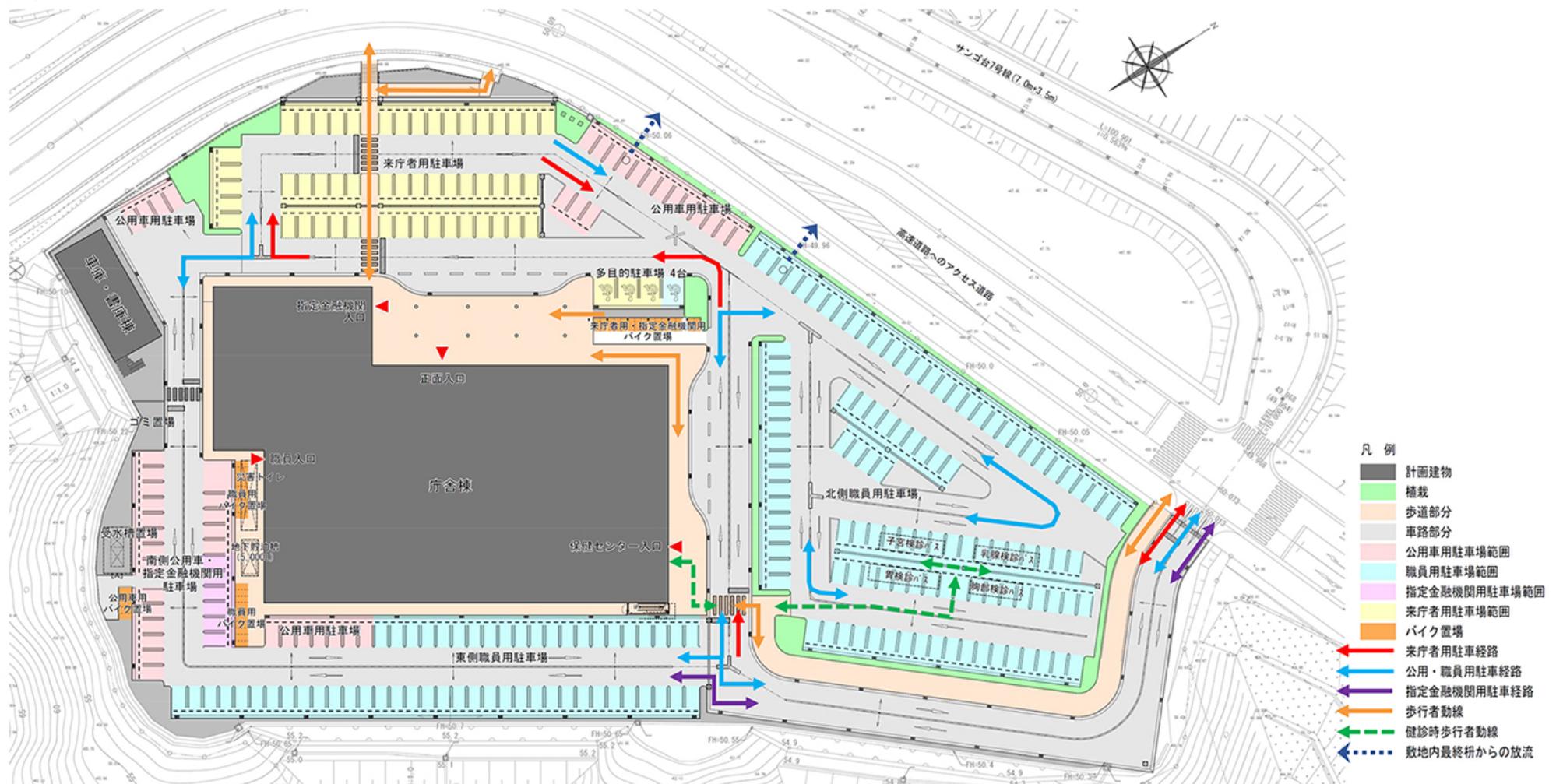
- 要求台数約270台の駐車スペースを確保する為、建物前面に駐車場を集約せず庁舎棟南・東側にも配置し、限られた敷地面積を最大限に活用した配置計画とします。また高速アクセス道路から計画建物への視認性を高め、かつ山の日影の影響を軽減する計画とします。
- 土日に健診事業を行う保健センターを計画建物の北側に配置し、北側職員用駐車場の一部を検診バススペースとして利用する計画とし、北側職員用駐車場から保健センターへの動線を確保する為、保健センター入口、歩行者道路を計画します。
- 車庫・書庫棟は、本棟職員入口からの動線を考慮した配置とします。
- 受水槽置場や地下貯油槽、災害トイレ等の設備スペースは庁舎棟の南側に配置し、来庁者の目に触れないような配置とします。

◆ 3) 駐車場配置計画について

- 来庁者用、職員用、公用車用、指定金融機関用の4つに駐車場をゾーニングし、庁舎棟の北西側に来庁者用、北側及び東側に職員用、南側に公用車・指定金融機関用駐車場を配置することで、来庁者・職員の動線を分離した計画とします。
- 来庁者用、職員用それぞれのゾーンで循環可能な経路計画とします。
- 多目的駐車場から正面入口付近のキャノピー下まで通路シェルターを設けることにより、雨天時の利用に配慮するとともに、車路を横断することなく庁舎棟への安全なアクセスが可能な計画とします。

◆ 4) 外構計画について

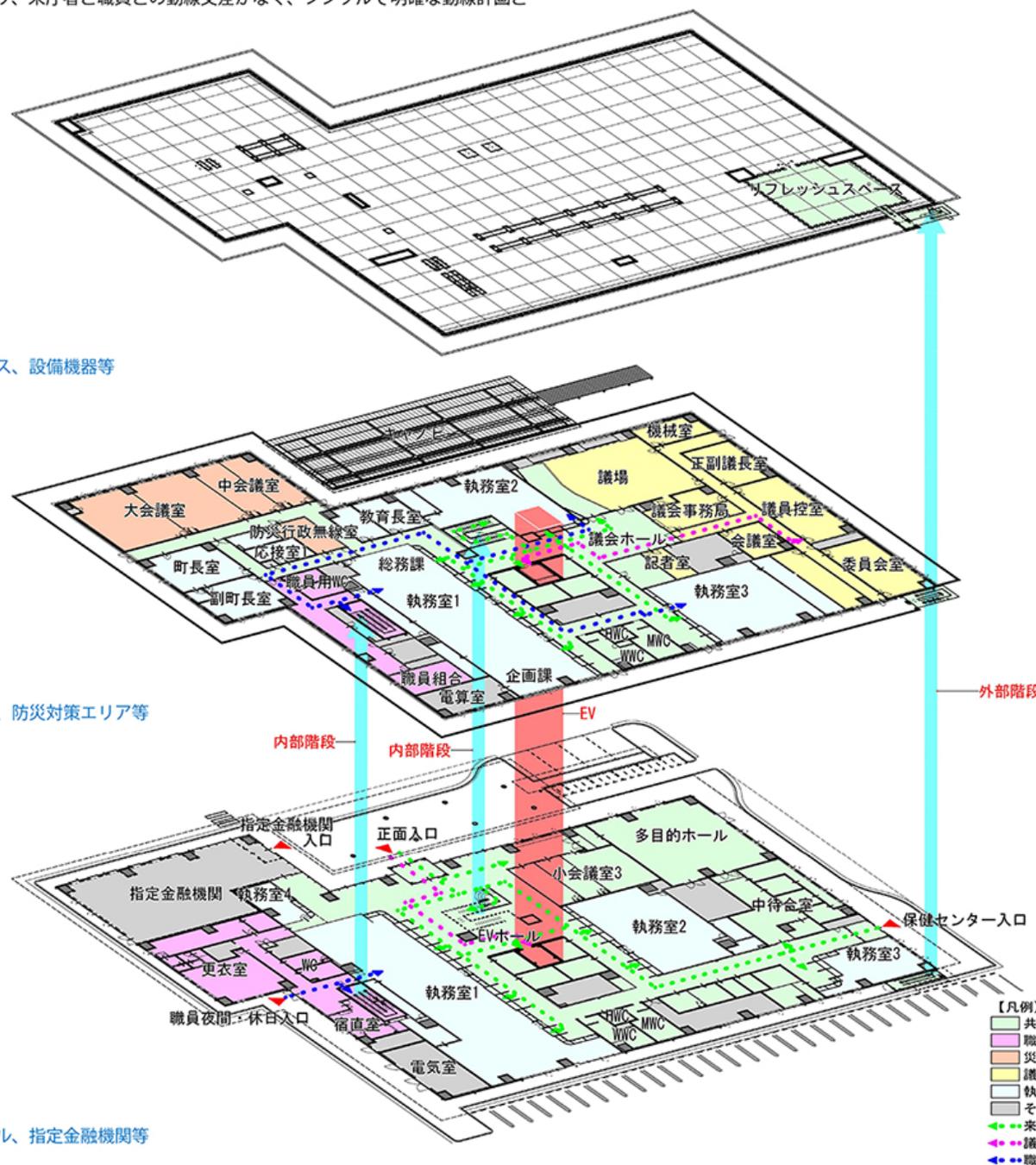
- 雨水排水について、敷地西側は仮設ソイル張側溝を撤去、VS側溝を新設し、敷地内最終枙に接続します。敷地東側に関しては開発用のVS側溝に排水し、敷地内最終枙に接続する計画とします。
- 植栽については、維持管理の手間を考慮し、芝主体の計画とします。



■ 動線計画

庁舎棟館内動線計画

建物内は、来庁者エリアと職員エリアとを、明確に区別し、それぞれのエリアで階段を配置することにより、来庁者と職員との動線交差がなく、シンプルで明確な動線計画とします。



R階

リフレッシュスペース、設備機器等

2階

執務室、議会エリア、防災対策エリア等

1階

執務室、多目的ホール、指定金融機関等

◆共用廊下

共用廊下は段差のない構造とし、車椅子利用者やベビーカー利用者に配慮したゆとりのある幅員を確保します。

◆避難バルコニー・外部階段

2階には、建物周囲に外部階段に接続した避難バルコニーを配置し、建物内部階段のみならず、避難バルコニーから外部階段への避難経路を確保し、より安全な庁舎を計画します。

◆エントランス

建物出入口は
 ・メインエントランスとなる正面入口
 ・健康診断時の検診バスとのメインアクセスとなる保健センター入口
 ・夜間休日入口
 を設け、庁舎へのアクセスが容易な動線計画とします。

◆エレベーター

エレベーターは、正面入口の近くに、来庁者エリアの中心部に配置し、庁舎内の移動距離が少ない動線計画とします。

◆大会議室・中会議室と町長室・副町長室との連携動線

大会議室、中会議室と町長室・副町長室との動線は短くすることで、災害時には災害対策本部として、大会議室・中会議室と町長室・副町長室とが容易に連携できる計画とします。

◆大会議室・中会議室と防災行政無線室との連携動線

大会議室、中会議室と防災行政無線室との動線は短くすることで、災害時には災害対策本部として、大会議室・中会議室と防災行政無線室とが容易に連携できる計画とします。また、総務課、町長室・副町長室との動線も短く確保できるよう計画します。

◆町長室・副町長室と総務課との連携動線

町長室への来庁者動線を、総務課にて受付を行った上で総務課横の廊下より町長室へアクセスする動線とすることで、町長室・副町長室と総務課との連携を行い易く、セキュリティ確保を行える計画とします。

◆電算室と企画課との連携動線

電算室と企画課を隣接させ、電算室の管理形態を現状から変更する必要のない計画とします。

- 【凡例】
- 共用エリア
 - 職員専用エリア
 - 災害対策エリア
 - 議会エリア
 - 執務室エリア
 - その他
 - 来庁者動線
 - 議員動線
 - 職員動線

■ 立面計画

◆ 外観デザイン…串本の風景をかたちに

・町民から親しみを持たれ、愛される役場庁舎を具現化する為、この地域で目にする風景を、デザインソースに取り入れた、外観デザインを計画します。

・バルコニー、庇

太平洋の水平線をデザインソースとして、バルコニー、庇の水平基調を特徴とした、外観デザインを構成します。

・指定金融機関外壁：せつ器質ボーダータイル

整形な平面形状から突出している指定金融機関部外壁仕上は、特徴を持たせる為、他の外装材とは異なるも調和が図れる、せつ器質ボーダータイルを用いて外観デザインを構成します。

・押し成型セメント板デザインパネル(リブ)

北側外壁には、押し成型セメント板リブパネルと押し成型セメント板フラットパネルと縦すべり出し窓を連続して計画する事で、圧迫感を緩和する外観デザインとします。



北西側外観イメージ



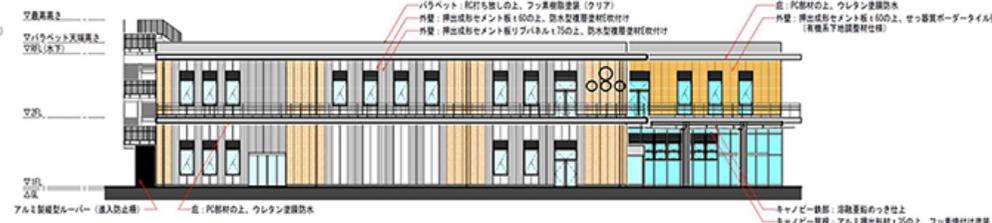
押し成型セメント板
リブパネル (参考例)



せつ器質ボーダータイル
(参考例)



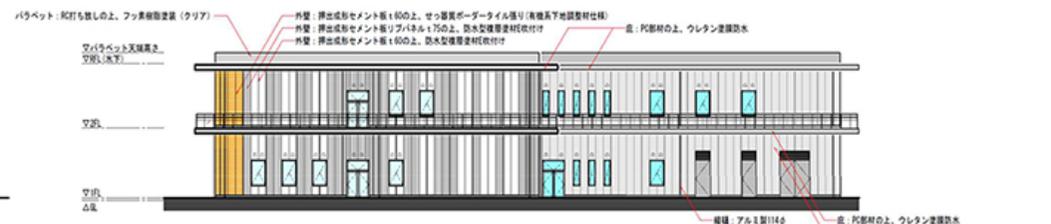
西側立面図



北側立面図



東側立面図



南側立面図